

# 大阪府における悪性中皮腫

大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部

原 加奈子、中田 佳世、梶原 麻里、石田 理恵、久馬 麻希、花原 聡、栗原 佳宏、森島 敏隆、宮代 勲

## 背景

### 【悪性中皮腫について】

- 胸膜、腹膜、心膜、精巣鞘膜の中皮細胞に発生する悪性腫瘍、発症要因はアスベスト暴露に關係し、希少がんのひとつ<sup>※1</sup>とされている。
- 人口動態統計によると、中皮腫での大阪府の死亡数は、2019年までワースト1位<sup>※2</sup>。

| 死亡数ワースト10位 | 2016年   | 2017年    | 2018年    | 2019年   | 2020年    |
|------------|---------|----------|----------|---------|----------|
| 1位         | 大阪府 159 | 大阪府 157  | 大阪府 157  | 大阪府 156 | 大阪府 155  |
| 2位         | 兵庫県 138 | 兵庫県 132  | 東京都 135  | 東京都 123 | 大阪府 143  |
| 3位         | 東京都 130 | 東京都 131  | 兵庫県 129  | 兵庫県 107 | 神奈川県 107 |
| 4位         | 埼玉県 94  | 神奈川県 109 | 神奈川県 104 | 北海道 93  | 兵庫県 103  |
| 5位         | 神奈川県 88 | 埼玉県 89   | 埼玉県 89   | 神奈川県 93 | 北海道 101  |
| 6位         | 北海道 86  | 愛知県 77   | 愛知県 89   | 愛知県 83  | 愛知県 85   |
| 7位         | 愛知県 81  | 北海道 73   | 北海道 86   | 埼玉県 75  | 埼玉県 81   |
| 8位         | 福岡県 65  | 福岡県 71   | 福岡県 70   | 福岡県 71  | 千葉県 77   |
| 9位         | 千葉県 60  | 千葉県 57   | 千葉県 55   | 千葉県 61  | 福岡県 71   |
| 10位        | 広島県 49  | 静岡県 43   | 広島県 51   | 静岡県 47  | 広島県 49   |

2006年（平成18年）、「石棉による健康被害の救済に関する法律」が制定された。2016年（平成28年）、中央環境審議会にて救済制度の施行状況に関する評価・検討が行われ、同年に施行されたがん登録制度活用の可能性について指摘され、関係省庁と連携し検討すべきとされた。2018年度（平成30年度）、国立がん研究センターにおいて「石棉健康被害救済制度に認定された肺がん患者に関する院内がん登録を活用した調査」が実施された。  
 ※1 RARE CARE net list より  
 ※2 人口動態統計「都道府県別みた中皮腫による死亡数の年次推移」より

## 方法

### 【分析に使用したデータ】

- 大阪府地域がん登録データ：1976-2015年症例
- 標準人口：1985年日本人モデル人口
- コホート生命表：国立社会保障人口問題研究所「日本版死亡データベース」

### 【悪性中皮腫の抽出】

- 国際疾病分類腫瘍学（ICD-O 第3.1版）<sup>①</sup> 形態コード：9050-9053（中皮腫）  
 性状コード：3（悪性新生物）

### 【診療医療機関の定義】

- 医療機関コードを用いて診療医療機関を結びつけ  
 優先順位：経血的治療病院>薬物治療病院>放射線治療病院>初診病院
- 診療医療機関を2016年時点の拠点病院等の種別<sup>②</sup>に分類  
 優先順位：都府県がん診療連携拠点病院1施設  
 ■ 地域がん診療連携拠点病院および小児がん拠点病院17施設  
 ■ 大阪府指定がん診療拠点病院43施設  
 ■ 大阪府指定肺がん診療拠点病院3施設

- 拠点病院
- 非拠点医療機関
- その他（他府県・医療機関不明）

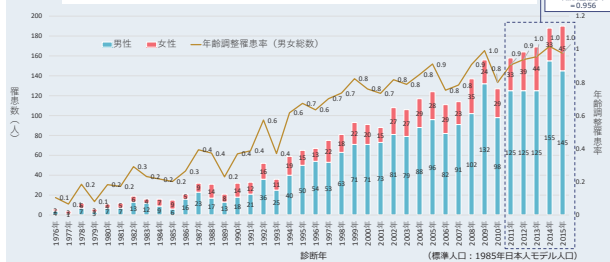
### 【医療圏の分類】

- 患者住所および、診療医療機関の所在地を大阪府の8つの二次医療圏に分類

- 大阪府の罹患数と年齢調整罹患率（直接法）、
- 5年純生存率（Pohar-Perme法）、
- 患者受療傾向を調査

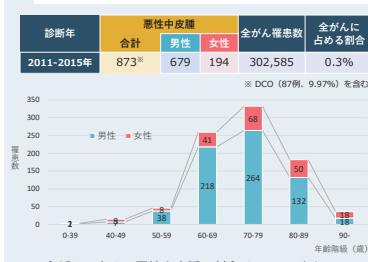
## 結果

### ①-1. 大阪府における悪性中皮腫の罹患数および年齢調整罹患率の推移



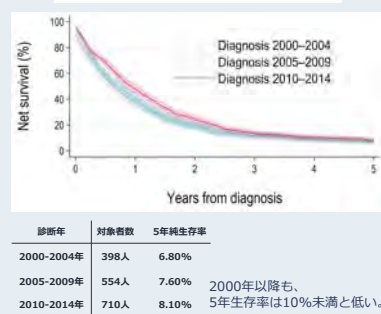
1976-2015年における罹患数は診断された悪性中皮腫は総計2,998例であり、罹患数は近年増加傾向。直近5年（2011-2015年罹患873例）における大阪府人口10万人当たりの年齢調整罹患率は0.956。

### ①-2. 罹患数および罹患年齢（2011-2015年）



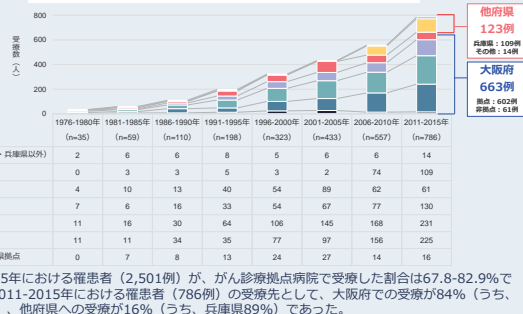
全がんに占める悪性中皮腫の割合は0.3%であり、男女比率は1:0.3であり、60-70代での罹患が多い。

### ② Pohar-Perme法による5年純生存率



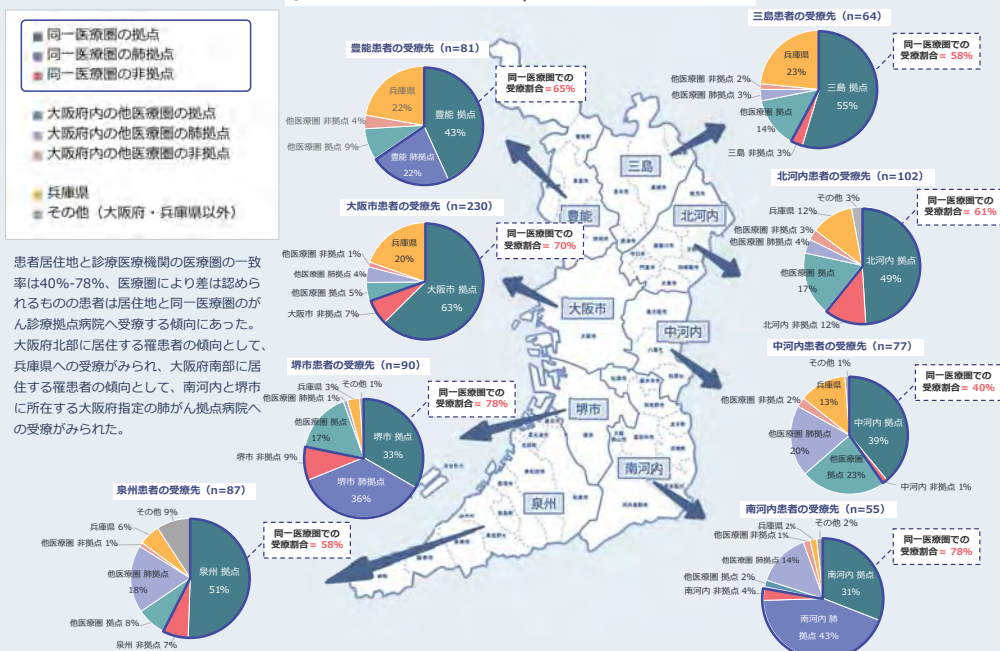
2000年以降も、5年生存率は10%未満と低い。

### ③-1. 受療傾向（1976-2015年） / 診療医療機関の種別



1976-2015年における罹患患者（2,501例）が、がん診療拠点病院で受療した割合は67.8-82.9%であった。2011-2015年における罹患患者（786例）の受療先として、大阪府での受療が84%（うち、拠点91%）、他府県への受療が16%（うち、兵庫県89%）であった。

### ③-2. 受療傾向（2011-2015年） / 患者居住地別（大阪府8医療圏）



## 結論

大阪府における悪性中皮腫罹患率は増加傾向で、未だ予後不良である。府内外によらずアクセスしやすい拠点病院等の中から悪性中皮腫を扱える医療機関が選ばれていた。

日本がん登録協議会 第31回学術集会 COI開示 筆頭講演者：原 加奈子 当演題発表に関し、開示すべきCOIはありません。

